



# 有志竟成

浜松市立北浜中学校  
学校だより  
令和元年9月 4日

## 「響け6色の声援 掴め勝利 新しい歴史を令和に刻め！」

2学期が始まり1週間が過ぎました。35日間の夏休みを終え心身共にたくましく成長した北浜中生は、来週13日に開催される体育祭に向けて、その練習や準備に全力で取り組んでいます。この夏休みに行われた中体連夏季大会では、陸上女子1500m全国大会優勝を筆頭に県・東海大会と、どの部活も十分に実力を発揮しました。運動部だけでなく、吹奏楽部・美術部・太鼓部・パソコン部等の文化部も素晴らしい活躍を見せてくれました。また夏休み夢会議、三遠南信中学生交流、私の主張、外国人日本語スピーチコンテスト等への参加・入賞など、まさに「文武両道」の活躍でした。



さて「響け6色の声援 掴め勝利 新しいを令和に刻め！」は全校生徒に募集した中から選ばれた今年度の体育祭スローガンです。また右上の体育祭ポスターは、美術部生徒が校内掲示用に作製したものです。スローガンからも、ポスターからも、体育祭にかける生徒の熱い思いがひしひしと伝わってきます。北浜中体育祭は、学年別の学級対抗を基本としていますが、各学年1組から6組までの6つの縦割り集団を結成し、この6集団を中心とした応援や競技種目で互いに競い合います。生徒はこの体育祭を通して、達成感や満足感を味わうだけでなく、学級への所属感や連帯感を高めると共に、3年生をリーダーとした縦割り集団の絆を深めていきます。このスローガンやポスターのもと、私たち北浜中職員も生徒と一緒に、感動あるすばらしい体育祭を創りあげていきたいと思います。

## 「君のやる気スイッチをONにする遺伝子の話」

この本は平成24年、鹿児島の高校で行われた講演会「命の授業」の様相を収録したものです。著者の村上和雄先生は筑波大学名誉教授であり、長年、遺伝子の研究に取り組んできました。昭和58年には、高血圧を引き起こす原因となる酵素「ヒト・レニン」の遺伝子解読に成功し、世界的な業績として注目を集め、平成8年には日本学士院賞を受賞しています。

この講演会の演題は「遺伝子が目覚めれば人生が変わる」です。笑いと遺伝子のかかわり、生命誕生の神秘と生きていることの素晴らしさ、みんな違ってみんないい、他人のために働くことが自分にとっての大きな幸せになる、など読んでいくうちにその内容にどんどん引き込まれていきました。講演会終了後、高校生が書いた感想文の中からいくつかを紹介します。

- 遺伝子について初めて知ることが多く、自分が生きていることは本当に素晴らしいことだと改めて感じさせられました。
- 命を粗末にすることは、38億年かけられてつくられた命を無駄にすることなのだということ。このことを知って、私は今ここで生きていることに感謝し、ちょっとやそっとの辛いことがあっても、精一杯楽しんで生きたいと強く思いました。
- 才能のある人とない人の差は縮まらないと思っていましたが、眠っている遺伝子を起こして才能を開花させるのは結局自分次第だということがわかり、嬉しかったです。

<文責：校長 鈴木信行>